

2023年度の取組み概要

◆ 地域のお客さまの課題解決に向けた取組み

■ 各種補助金・助成金の活用支援

事業者さまの課題に適した各種補助金・助成金の活用のご提案や申請手続きに関するサポートを行っています。2023年度は、事業再構築補助金を中心に28件の補助金申請支援を行いました。3月31日現在で17件の採択実績となっています。

2023年度支援実績

	件数
中小企業等事業再構築補助金	5件
ものづくり補助金	2件
小規模事業者持続化補助金	10件
愛媛県物価高騰対策設備投資支援補助金	6件
松山市人材確保・生産性向上チャレンジ事業	5件

■ 補助金活用事例① 旭屋朝日 縫製業(松山市)

2019年9月に創業、地元アパレル業者向けの服型等のサンプル・小ロット縫製を行う個人事業主が、コロナ禍におけるイベントや展示会等の開催中止の影響による受注減少の状況から脱却し、新たな販路を拡大するため、「小規模事業者持続化補助金」を活用し、最新のコンピューターミシンと特殊ミシンを導入しました。現在、縫製のバリエーションの追加による新たな付加価値の創造、一般消費者向けの洋服や雑貨のEC販売(新分野)への進出を図っています。また、販路拡大を強化するための自社サイトの開設支援も行うなど継続的な伴走支援を行っています。



今回導入したミシン



作業場の様子



新たに開設したHP

■ 補助金活用事例② 有限会社トーカイ食品 食品加工業(松山市)

1988年12月に創業、松山市内で長年、燻製加工を主体とした食品加工業を営む会社が、道後温泉を訪れる観光客に対する自社のレトルト商品(松山鯛めし)の売上増加を目指すため、「小規模事業者持続化補助金」を活用し、包装パッケージを一新しました。化粧箱を採用することで、商品のつぶれ防止や“鯛まるごと一匹”が一目でわかるパッケージデザインにより陳列時の見栄えが向上する等の効果があり、売れ行きは好調です。現在、本商品を含むレトルト部門のホームページの作成を検討しており、ECサイトでの販路拡大を目指しています。

既存の商品パッケージ



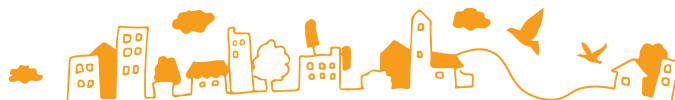
- ・鯛一匹が見えず商品の特徴が伝わらない
- ・フィルム包装で、つぶれやすく陳列しにくい



新たな商品パッケージ

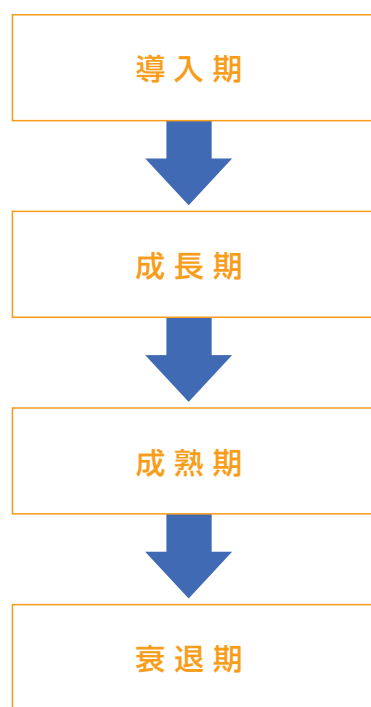


- ・商品の特徴が一目でわかるパッケージ
- ・化粧箱入りで高級感あふれる商品へ



◆ 企業のライフサイクルに応じた取組み

創業・新規事業の導入期から創業後の成長期、成熟期、衰退期まで、継続的なサポートを行っています。



無料創業セミナーの開催



〔カリキュラム〕

- 先輩创业者の体験談
- 経理、会計の基礎
- 人事・労務に関する手続き
- 創業計画書の作成方法

経営塾の開講



第9期 女性経営者塾

経営セミナーの開催



オンラインセミナー「愛媛県内の経営状況」

事業承継・M&A支援

「事業承継引継ぎ支援候補先」を選定し、愛媛県事業承継・引継ぎ支援センターと連携しながら様々な支援を行っています。



◆ 各種ビジネスマッチングへの出展支援

県外への販路拡大を目的に、他の信用金庫と連携した支援を行っています。

ひがしんビジネスフェア2023 (11月17日)



2023 “よい仕事おこし” フェア (11月21日・22日)



2023年度の取組み概要

◆ 持続可能な地域づくりへの取組み

■ 地域イベントへの参加

各地で様々なイベントが開催され、当金庫も地域の一員として参加しました。



道後温泉まつり



たわわ祭(松前町)



野村乙亥大相撲



くままちひなまつり(久万高原町)



おおにしフェスタ(今治)



あいしんレディーストーナメント協賛



ねんりんピック



愛媛マラソン

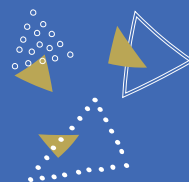


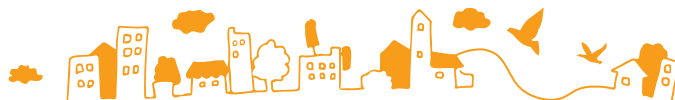
地元保育園のクリスマスイベント参加



愛媛信用金庫 Instagram

当金庫のイベントやキャンペーン情報のほか、愛媛県のお店や観光スポットを紹介しています。





◆ 持続可能な地域づくりへの取組み

■ 地域貢献への取組み

地元企業のための新入社員合同研修の開催

自社で新入社員の研修が難しい地元中小企業の人材育成等の支援を目的に1997年より開催しており、名刺交換や挨拶等、社会人として身につけなければならないビジネスマナーを実際に体験しながら学ぶことをテーマに講義を実施しています。



地元中学生の職場体験学習の受入れ

子供たちが学ぶこと・働くことの意義を考える機会となるよう、地元中学生の職場体験学習の受入れを実施しています。



店舗スペースを活用した各種イベントの開催

地域の方が集える場所として、ロビーや店舗敷地を活用したイベント等も積極的に開催しています。

各種ロビー展の開催



店舗駐車場でクラシックカー展示イベントを開催(大洲支店)



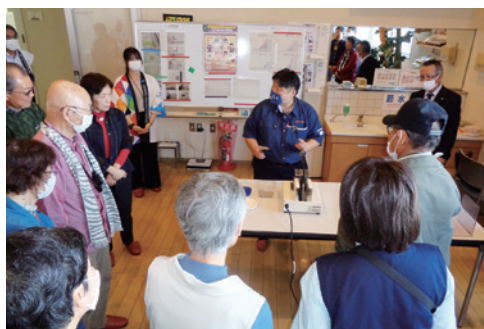
2023年度の取組み概要

■“四国のお宝シリーズ” 民力で築いた歴史を持つまち「郡中」

JR四国と連携し、四国地区全体の地域活性化・地域振興に向けた取組みを実施しています。今回は、伊予市にて「なぜ、削り節から「郡中だし文化」が生まれたのか？」をテーマに、市内観光や珍味製造プチ体験などを行うツアーが企画され、当金庫も地域の一員としておもてなしを行いました。



お客さまのお出迎え

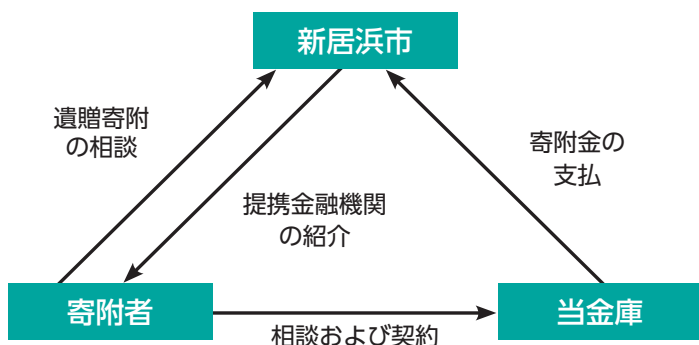


珍味製造プチ体験



■新居浜市、社会福祉法人新居浜市社会福祉協議会と遺贈寄附に関する協定を締結

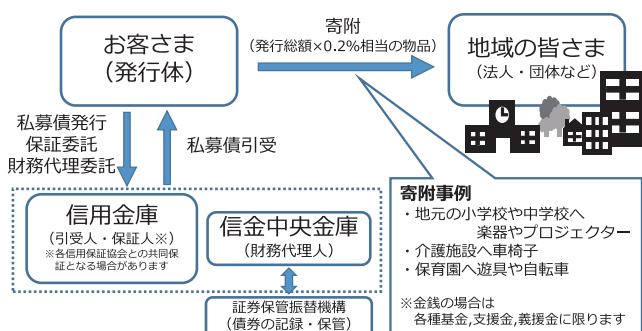
高齢化の進行や家族形態の多様化、終活への関心の高まり等を背景に、「遺産を地域や地域の福祉に関する取組みのために活用してもらいたい」という厚意にお応えするため、県内他行等とともに新居浜市等と協定を締結し、当金庫の相続関連商品を活用し遺産を寄附するための仕組みを構築しました。

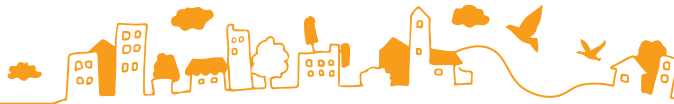


■しんきんSDGs私募債『ちいきのミライ』受託 ミセスホーム株式会社

本私募債は、SDGsの達成に向けて取り組んでいる企業が発行するもので、引受人である当金庫と財務代理人となる信金中央金庫が、それぞれ受取手数料の一部を割引し、発行企業が割引相当額以上の物品等をSDGs達成のための用途に活用していただける法人等へ寄贈する商品です。

今回は、ミセスホーム株式会社が発行する私募債を引受し、同社より松山市立勝山中学校へテント、ラーフルクリーナー等の寄贈が行われました。





経営者保証に関する取組み方針及び

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み状況

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を以下のとおり策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、2023年度に当金庫において、新規に無保証で融資をした件数は997件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は25.13%、保証契約を解除した件数は48件、同ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)は0件です。

経営者保証に関する取組み方針

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」(以下、「ガイドライン」)の趣旨や内容を踏まえ、同ガイドラインを融資慣行として浸透・定着させていくために、以下のとおり取り組みます。

1. お客さまが融資等資金調達のお申込みをした場合、当金庫では、お客さまのガイドラインの要件の充足や経営状況、事業性評価等を総合的に判断する中で、経営者保証を求めない可能性や経営者保証の機能を代替する融資手法(一定の金利の上乗せ等)を活用する可能性について、お客さまの意向を踏まえたうえで検討いたします。
2. 上記の検討を行った結果、経営者保証を求めることがやむを得ないと判断し、経営者保証を提供いただく場合、当金庫はお客さまの理解と納得を得ることを目的に、保証契約の必要性等に関する丁寧かつ具体的な説明を行います。
3. 経営者保証を提供いただく場合、お客さまの資産及び収入の状況、融資額、信用状況、情報開示の姿勢等を総合的に勘案して、適切な保証金額の設定に努めます。
4. お客さまから既存の保証の変更・解除等の申入れがあった場合は、ガイドラインに即して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について真摯かつ柔軟に検討を行うとともに、その検討結果について丁寧かつ具体的な説明を行います。
5. 事業承継時には、原則として前経営者、後継者の双方から二重で経営者保証は求めないこととし、例外的に二重に保証を求めることが必要な場合には、丁寧かつ具体的な説明を行います。
また、後継者に当然に保証を引き継いでいただくのではなく、その必要性を改めて検討いたします。
6. お客さまからガイドラインに基づく保証債務整理の申し出を受けた場合には、ガイドラインに即して誠実に対応いたします。

以上